

令和5年度予算要求事業概要書



所管課	産業・地域振興支援部 産業振興課
問合せ	経営支援係 TEL:03-6435-4613

NO	1
----	---

(単位：千円)

1 事業名	中小企業人材確保支援事業	10 要求内容	要求額 ⇒ 予算額 (うち特財)																
2 要求区分	新規事業	・ 補助金 (100万円×200者)	200,000 ⇒																
3 事業説明文	<p>コロナ禍での売上減少が回復しないまま、原油高やウクライナ情勢の影響等に伴う燃料費、原材料費など的高騰により、区内中小企業はいまだ厳しい経営状況が続いています。区内中小企業が現在の苦境を乗り越えるための積極的な事業活動を支援するため、事業者の人材確保にかかる経費を補助します。</p>	・ コールセンター等業務	5,288 ⇒																
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	<p>区が実施した景況調査 (7月～9月) において、ウィズコロナ、アフターコロナで特に望む支援で多く (回答企業中34.5%) の事業者が「人材確保・育成支援」を挙げています。</p>	合計 205,288 ⇒																	
5 事業の実施手法及び内容	<p>求人広告費、人材紹介会社手数料、合同企業説明会への出展料等の人材確保に要する経費の一部を補助します。</p> <p>対象：中小企業 補助率：2/3 補助上限額：100万円 補助対象経費：求人広告費、人材会社への手数料、合同企業説明会出展料等</p>	財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td></td> <td>205,288</td> </tr> </table>	国庫支出金				都支出金				その他特財				一般財源			205,288
国庫支出金																			
都支出金																			
その他特財																			
一般財源			205,288																
		債務負担行為	令和 年 ~ 年 限度額																
		11 実施に向けた財源確保	特定財源無し																
6 目指すべき成果・目標	<p>事業者の積極的・前向きな事業展開を支援することで、区内経済の活性化を図ります。景況調査から、多くの中小企業が人材確保に関する支援を望んでいることから、年間200者の補助を目標とします。</p>	12 スケジュール	令和5年7月 事業周知 8月 事業実施																
		13 事業実施に伴う将来コスト	205,288千円 (特財なし) /年																
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	なし	14 事務事業評価結果																	
		15 編成の考え方																	
8 基本計画・個別計画	港区産業振興プラン																		
9 関連する法令・条例等	なし																		

令和5年度予算要求事業概要書



所管課	産業・地域振興支援部 産業振興課	NO	2
問合せ	経営支援係 TEL:03-6435-4613	(単位：千円)	

1 事業名	中小企業DX促進支援事業	10 要求内容	要求額 ⇒	予算額 (うち特財)
2 要求区分	レベルアップ	レベルアップ分	小計 40,000 ⇒	(26,666)
3 事業説明文	区内中小企業者がDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する際に係る経費の一部を補助することにより、効率的な経営を実現することが可能となります。	・ソフトウェア導入費等支援事業補助金 100件分（100件×40万）	40,000 ⇒	(26,666)
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	令和5年10月にインボイス制度が開始され、令和6年1月にはこれまで開始が猶予されていた改正電子帳簿保存法の適用が開始されます。各制度への対応が急務とされていますが、国税庁によると課税事業者全体に占める登録事業者の割合は半数に届いておらず（令和4年8月末現在）、さらなる支援が必要です。	経常経費分 ・デジタル技術導入補助金 30件分（30件×100万）	小計 30,000 ⇒ 30,000 ⇒	
5 事業の実施手法及び内容	【レベルアップ分】 インボイス制度、改正電子帳簿保存法への対応支援をはじめ、中小企業のDXを強力に進めるため、「ソフトウェア導入費等支援事業補助金」の補助率、補助上限額を引き上げます。 対象：中小企業 補助率：現行：2/3→レベルアップ：3/4 補助上限額：現行：30万円→レベルアップ：40万円 補助対象経費：経理システムをはじめとしたソフトウェアの新規導入に係る経費	合計 70,000 ⇒		(26,666)
6 目指すべき成果・目標	区内事業者のDXを促進することにより、生産性の向上を促すとともに、インボイス制度等への対応ができていく状態を目指します。 3か年で計400件を補助想定（R4：200件 R5：100件 R6：100件）	財源内訳 国庫支出金 都支出金 地域産業デジタル化推進事業費補助金（上限4,000万、補助率2/3） 26,666 その他特財 一般財源 43,334 債務負担行為 令和 年 ~ 年 限度額		
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	都：地域産業デジタル化推進事業費補助金	11 実施に向けた財源確保		【東京都】地域産業デジタル化推進事業費補助金を活用（採択されるかは未定、R5年度に決定）
8 基本計画・個別計画	なし	12 スケジュール		令和5年4月 ①ソフトウェア導入費等支援事業開始 5月 ②デジタル技術導入促進事業の対象となる国事業を確認 要綱改正 6月 ②デジタル技術導入促進事業実施
9 関連する法令・条例等	適格請求書等保存方式（インボイス制度）、改正電子帳簿保存法	13 事業実施に伴う将来コスト		令和5年度 レベルアップ分40,000千円（うち特財26,666千円）/年
		14 事務事業評価結果		
		15 編成の考え方		

令和5年度予算要求事業概要書

所管課	産業・地域振興支援部 産業振興課	NO	3
問合せ	経営支援係 TEL:03-6435-4613	(単位：千円)	



1 事業名	中小企業SDGs経営支援事業	10 要求内容	要求額	⇒	予算額	(うち特財)
2 要求区分	レベルアップ	レベルアップ分	小計	8,955	⇒	
3 事業説明文	SDGs経営に新たに取り組む事業者を選定した上で、伴走型の支援を実施し、当該事業者の取組を効果的に動画にまとめ周知することにより、区内事業者のSDGs経営に関する関心を高め、アフターコロナにおける新たな事業展開へとつなげていきます。	・SDGsリーディングカンパニー創出支援業務		8,955	⇒	
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	令和4年8月に実施した実態調査において、SDGsに関する認知度は高いものの、取組を進めている事業者は少ない状況です。また、取引先からSDGs経営への取組状況を聞かれたことがある企業は10.3%のみとなっています。	経常経費分	小計	0	⇒	
5 事業の実施手法及び内容	<p>【対象者】区内中小企業者 【実施時期】令和5年7月～令和6年3月の期間において実施 【実施手法】 ①SDGsワークショップ（全6回） ②ハンズオン支援（月1回程度の面談、無制限チャット相談） ③取組検討、取組実施風景撮影、動画編集 ④動画配信</p>	・SDGs相談ブース運営業務委託		0	⇒	
		※5年度より指定管理事業に移行し、ブース型から巡回型に変更してSDGs経営相談を実施します。 そのため、本事業での予算計上はありません。				
		合計		8,955	⇒	
		財源内訳	国庫支出金			
			都支出金			
			その他特財			
			一般財源			8,955
		債務負担行為	令和	年	～	年
		限度額				
6 目指すべき成果・目標	リーディングカンパニーとなる事業者の創出及び動画配信による普及啓発により、区内事業者のSDGs経営に関する取組実施率を20%高める。	11 実施に向けた財源確保	特定財源なし			
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	江戸川区：新製品・新技術開発支援事業（SDGsの取組については補助率引き上げ）	12 スケジュール	5月 委託事業者選定 7月 業務開始			
8 基本計画・個別計画	なし	13 事業実施に伴う将来コスト	8,955千円/年			
9 関連する法令・条例等	なし	14 事務事業評価結果				
		15 編成の考え方				

令和5年度予算要求事業概要書



所管課	環境リサイクル支援部 環境課	NO	4
問合せ	地球環境係 TEL:03-3578-2495	(単位：千円)	

1 事業名	みなと環境にやさしい事業者会議	10 要求内容	要求額	⇒	予算額	(うち特財)
2 要求区分	レベルアップ	レベルアップ分	小計	5,016	⇒	
3 事業説明文	<p>環境活動を行う事業者で構成されるみなと環境にやさしい事業者会議の会員数を増やすとともに、会員事業者の取り組みを広く周知することで会員間の情報共有や連携を強化し、会員事業者の取組を推進します。</p>	・活動内容の情報発信強化		2,816	⇒	
		・新規会員獲得活動		2,200	⇒	
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	<p>みなと環境にやさしい事業者会議は、様々な環境に関する活動を行いその取組を発信しているほか、会員（令和3年度末現在：57事業者）ごとに紙ごみや電気の使用量の削減等の様々な環境活動を行っています。</p> <p>区内の温室効果ガス削減取組を一層加速させるためにはCO2排出量約7割を占める事業者の協力が必要不可欠で、より多くの事業者に当該会議に参加してもらい環境に関する取組を推進し、会員事業者間の連携や区との連携を活性化させ新たな取組を創出する必要があります。</p>	経常経費分	小計	4,456	⇒	
5 事業の実施手法及び内容	<p>令和5年度は、会員事業者が行っている環境活動について、会員間の情報共有や区民等への周知や情報発信を強化し、会員間での環境活動を一層推進します。あわせて、環境保全の課題は認識しているものの、実行に移すための手段が分からない企業等を新たに会員へ勧誘することで、様々な団体が連携・協働して環境保全活動に取り組む状況を作ります。</p> <p>【情報発信強化の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報発信：10件/月 会員事業者の環境活動をSNSやHPで積極的に発信し区民に広く周知するとともに、企業間の連携を強化します。 ○大規模情報発信：4回/年 ラジオ、駅広告、雑誌等のメディア媒体を活用し、当該会議の活動を全国に発信します。 <p>【新規会員獲得に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業訪問：8社/月 訪問時に活動内容の周知と賛同により新規会員獲得につなげます。 	・事業企画		1,980	⇒	
		・幹事会・総会等事務局運営		2,376	⇒	
		・分担金（会費）		100	⇒	
		合計		9,472	⇒	
		財源内訳	国庫支出金			
			都支出金			
			その他特財			
			一般財源			9,472
		債務負担行為	令和	年	～	年
		限度額				
6 目指すべき成果・目標	<p>環境基本計画の最終目標値64事業者を上回る70事業者の加入を令和5年度末までに達成します。会員事業者数の増加及び区との連携の強化により、MINATO節電アクションを始めとした区の施策を一層推進するとともに、新たな環境に関する取組やSDGs活動等を創出し、区内の温室効果ガス削減につなげます。更に、取組や削減効果を様々なメディア媒体を活用し発信を行うことにより、港区全体の環境への取組を全国にPRします。</p>	11 実施に向けた財源確保	レベルアップ事業は特定財源なし			
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	なし	12 スケジュール	令和5年4月 実施			
8 基本計画・個別計画	港区環境基本計画	13 事業実施に伴う将来コスト	レベルアップ分 5,016千円（うち特定財源なし）/年			
9 関連する法令・条例等	なし	14 事務事業評価結果				
		15 編成の考え方				

令和5年度予算要求事業概要書



所管課	産業・地域振興支援部 産業振興課
問合せ	産業振興係 TEL:03-6435-4601

NO	5
----	---

(単位：千円)

1 事業名	魅力発信商店街PR動画事業	10 要求内容	要求額 ⇒ 予算額 (うち特財)
2 要求区分	新規事業	・専門審査委員	32 ⇒
3 事業説明文	区内商店街の魅力発信のため、商店街を題材としたPR動画作成のコンテストを実施します。	・事務費（HP管理、申込管理等）	1,221 ⇒
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、厳しい状況が続く区内商店街に人流を向ける必要があります。		
5 事業の実施手法及び内容	区内商店街の魅力を凝縮した1分程度の商店街PR動画を募集します。作成した動画は審査会（専門審査委員、商店街関係者等）による審査及び一般投票を行い、得票数に応じて順位付けを行います。 また、参加意欲向上のため、入賞作品には賞金を贈呈します。（港区商店街連合会、港区商店街振興組合連合会との共催により実施し、区は賞金についての支出並びに補助は行いません。）	合計	1,253 ⇒
		財源内訳	
		国庫支出金	
		都支出金	
		その他特財	
		一般財源	1,253
		債務負担行為	令和 年 ~ 年 限度額
		11 実施に向けた財源確保	特定財源なし
6 目指すべき成果・目標	応募作品数：100作品以上 一般投票数：4,000件以上	12 スケジュール	6月：作品募集開始 10月：作品募集締め切り 10月中盤～11月前半：一般投票受付 1月：表彰式（区商連新年賀詞交換会上）
		13 事業実施に伴う将来コスト	1,253千円/年
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	大田区：商店街の魅力発信（PR動画コンテスト）	14 事務事業評価結果	
		15 編成の考え方	
8 基本計画・個別計画	なし		
9 関連する法令・条例等	なし		

令和5年度予算要求事業概要書



所管課	産業・地域振興支援部 産業振興課
問合せ	産業振興係 TEL:03-6435-4601

NO	6
----	---

(単位：千円)

1 事業名	にぎわい商店街事業	10 要求内容	要求額 ⇒	予算額 (うち特財)
2 要求区分	レベルアップ	レベルアップ分	小計 32,265 ⇒	(20,532)
3 事業説明文	商店会等が自ら計画し実施するイベント、商店街の整備及び活性化を推進する事業の経費の一部を助成することにより、事業の効果的かつ円滑な推進を図り、商店街の活性化に寄与します。	・商店街コミュニティ事業支援（レベルアップ分）	32,265 ⇒	(20,532)
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	商店街振興組合組織の維持・活性化を後押しすることを通じ、魅力ある商店街の増加につなげていくため、法人化している商店街が行うイベントの補助率を拡充する必要があります。	経常経費分	小計 186,746 ⇒	(87,669)
5 事業の実施手法及び内容	レベルアップの内容： 商店街コミュニティ事業支援補助金（商店会が実施するイベントに係る費用の補助）につき、法人化された商店会（商店街振興組合等）が実施するイベントに対する補助の補助率及び補助上限額を拡充します。 【補助率】現行：2/3→レベルアップ：11/12（都7/12、区4/12） 【上限額】現行：600万円→レベルアップ：825万円	・商店街コミュニティ事業支援（経常分）、 商店街小規模イベント支援事業	160,390 ⇒	(76,855)
		・商店街活性化事業	9,012 ⇒	(4,505)
		・地域連携型商店街事業	11,333 ⇒	(5,666)
		・商店街地域力向上事業	1,154 ⇒	(643)
		・その他経常的経費（ちいばす広告掲載 ほか）	4,857 ⇒	
		合計	219,011 ⇒	(108,201)
		財源内訳	国庫支出金	
			都支出金	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 ほか 108,201
			その他特財	
			一般財源	110,810
		債務負担行為	令和 年 ~ 年 限度額	
6 目指すべき成果・目標	イベントをはじめとする商店街としての活動がより活性化することで地域の魅力を高める。	11 実施に向けた財源確保	都補助金を活用（レベルアップに伴う歳出予算の増額は、全額が都補助金の補助対象のため、レベルアップに伴う一般財源の負担増はなし）	
		12 スケジュール	令和5年4月 拡充	
		13 事業実施に伴う将来コスト	レベルアップ分 32,265千円/年（うち特財20,532千円）	
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	東京都：東京都商店街チャレンジ戦略事業費補助金（レベルアップ分の補助）	14 事務事業評価結果		
8 基本計画・個別計画	港区基本計画、第4次港区産業振興プラン	15 編成の考え方		
9 関連する法令・条例等	なし			

令和5年度予算要求事業概要書



所管課	産業・地域振興支援部 産業振興課
問合せ	観光政策担当 TEL:03-6435-4661

NO 7

(単位：千円)

1 事業名	観光情報発信事業	10 要求内容	要求額	⇒	予算額	(うち特財)												
2 要求区分	レベルアップ	レベルアップ分	小計	2,343	⇒													
3 事業説明文	<p>多くの方に港区に訪れていただくため、広く区の魅力を発信するとともに、国内外から訪れた旅行者が、区内で充実した時間を過ごせるよう多言語で区の観光情報で発信し、旅行者の周遊性・回遊性を高めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 港区観光サイクリングマップの企画・編集業務 2,145 ⇒ ・(仮称) 港区観光サイクリングマップの印刷 198 ⇒ 																
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	<p>令和3年度に策定した港区自転車交通環境整備計画に基づき、観光客を含む港区で活動する全ての人々が、「快適に・便利に・安全に」自転車を活用できる環境づくりを推進するため、(仮称) 港区観光サイクリングマップを作成します。</p>	<p>経常経費分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史観光ガイドブックの印刷 1,299 ⇒ (590) ・観光マップの制作・編集業務 1,613 ⇒ (733) ・観光マップの印刷 2,245 ⇒ (1,020) ・日本[港区]のマナー、風習、文化等紹介ガイドブック企画・編集業務委託 413 ⇒ (187) ・日本[港区]のマナー、風習、文化等紹介ガイドブック印刷製本 1,164 ⇒ (529) 																
5 事業の実施手法及び内容	<p>(仮称) 港区観光サイクリングマップの作成 対象者：港区を訪れる自転車利用者及び観光客 実施時期・回数：令和6年3月発行(予定) 実施手法：(仮称) 港区観光サイクリングマップを作成し、港区の魅力ある観光資源の周知及び自転車利用者の周遊性向上を図ります。</p>	<p>合計</p> <p>9,077 ⇒ (3,059)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td>諸収入(公益財団法人東京観光財団補助金) [補助率1/2]</td> <td>3,059</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>6,018</td> </tr> </table> <p>債務負担行為 令和 年 ~ 年 限度額</p>	財源内訳	国庫支出金			都支出金			その他特財	諸収入(公益財団法人東京観光財団補助金) [補助率1/2]	3,059	一般財源		6,018			
財源内訳	国庫支出金																	
	都支出金																	
	その他特財	諸収入(公益財団法人東京観光財団補助金) [補助率1/2]		3,059														
	一般財源		6,018															
6 目指すべき成果・目標	<p>(仮称) 港区観光サイクリングマップの作成により、自転車による地域の魅力を発見し、区内の周遊性・回遊性を高めます。</p>	<p>11 実施に向けた財源確保</p> <p>レベルアップ分は特定財源なし</p>																
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	<p>たまりバー50キロコースマップ(国土交通省)、世田谷区サイクルマップ(世田谷区)等</p>	<p>12 スケジュール</p> <p>4月~2月：港区観光サイクリングマップ作成 3月：配布・公開</p>																
8 基本計画・個別計画	<p>港区基本計画、第3次港区観光振興ビジョン、港区自転車交通環境整備計画</p>	<p>13 事業実施に伴う将来コスト</p> <p>次年度以降は、印刷に係る経費のみ計上予定。</p>																
9 関連する法令・条例等	<p>なし</p>	<p>14 事務事業評価結果</p>																
		<p>15 編成の考え方</p>																

令和5年度予算要求事業概要書



所管課	産業・地域振興支援部地域振興課
問合せ	文化芸術振興係 TEL:03-3578-2341

NO	8
(単位:千円)	

1 事業名	ミナコレ (MINATO COLLECTION)	10 要求内容	要求額 ⇒	予算額 (うち特財)
2 要求区分	レベルアップ	レベルアップ分	小計 4,312 ⇒	
3 事業説明文	区民が、区内の豊かな文化資源に身近に触れる機会を創出するため、区と区内の美術館及び博物館等が連携し、人々の回遊性を高めるためのスタンプラリー等を実施します。さらに、スタンプが貯まると区内の大使館に訪問できる特典を加え、区の国際色豊かな特徴を体験できるようにします。	・大使館訪問予約管理運営費	4,312 ⇒	
4 背景、根拠データ、区民ニーズ、現状課題等	平成24年度から令和元年度まで区と区内の美術館・博物館等が連携し、人々の回遊性を高める為にリアルスタンプラリー等を実施してきましたが、令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったことで、安定的な実施体制の整備が求められ、令和3年度からデジタルスタンプを導入しました。 現状、スマートフォンを持たない参加者への対応が課題です。	経常経費分	小計 3,544 ⇒	
5 事業の実施手法及び内容	<p>本事業では、スタンプラリーの参加者特典をミナコレオリジナルグッズとしてきましたが、産業振興課のワールドフェスティバルの事務事業評価の結果を受け、令和5年度からは、特典を「大使館訪問」に変更することにより、事業内容の充実化を図ります。</p> <p>対象者：区民（在住・在勤・在学）、観光客 実施時期：スタンプラリー…令和5年12月 大使館訪問…令和6年2月 実施回数：【デジタルスタンプラリー】年1回 実施手法：原則、各人のスマートフォンの活用による実施としますが、スマートフォンを持たない参加者の為に、併せてリアルスタンプも設置します。 参加者特典：規定数のスタンプを獲得した参加者について、希望する大使館への訪問とします。</p>	・リアルスタンプ関連費用	24 ⇒	
		・スタンプラリーイベント管理運営費	2,970 ⇒	
		・管理運営経費	550 ⇒	
		合計	7,856 ⇒	
		財源内訳		
		国庫支出金		
		都支出金		
		その他特財		
		一般財源		7,856
		債務負担行為	令和 年 ~ 年	限度額
		11 実施に向けた財源確保	特定財源なし	
6 目指すべき成果・目標	参加者意欲の向上を図り、参加者数の30%向上を目指します。 【過去実績】 平成30年：2,056人 令和元年：1,123人 令和2年：- 令和3年：2,134人	12 スケジュール	令和5年12月 スタンプラリー開催 令和6年2月 大使館訪問	
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	なし	13 事業実施に伴う将来コスト	レベルアップ分 4,312千円/年	
8 基本計画・個別計画	港区基本計画、港区文化芸術振興プラン	14 事務事業評価結果		
9 関連する法令・条例等	文化芸術基本法、港区文化芸術振興条例	15 編成の考え方		